

件名：【イクボスメールみえ 第07号】結婚、出産、子育て、働き方に関する意識調査結果

みえのイクボス同盟の皆さんに「イクボス」の取組推進の情報をお届けする「イクボスメールみえ」を送付します。

今回は県が実施した調査結果についてご紹介します。

■■■結婚、出産、子育て、働き方に関する意識調査結果■■■

県では、県内の高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）の学生1万6千人、住民3万人、従業員3万人、事業所3,000社を対象に結婚、出産、子育て、仕事との両立などに関する意識調査を実施し、結果が発表されましたので、その一部をご紹介します。

（1）高等教育機関で学ぶ学生が「就職で重視する条件は？」（複数回答）

- ・男性、女性ともに「働きやすさ」がトップ（71.7%）
- ・次いで「給料」（60.6%）「やりがい」（54.5%）が続く
- ・女子学生では、「産休・育児休暇制度」を重視する人が半数以上。（50.7%）

（2）高等教育機関で学ぶ学生の「理想の夫婦の生活スタイルは？」

- ・女性の4人に3人が「共働き(家事は分担)」(77.5%)、男性より約20ポイント高い(57.3%)

（3）県内事業所の従業員は「仕事と家庭の両立ができていますか？」

- ・「できている」と考えている人が約4割（39.8%）
- ・「仕事の負担が大きいため、うまく両立ができていない」と考えている人が約2割(22.0%)

（4）県内事業所従業員の「女性が働くことについて」の考え方

- ・男性は「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び働く方がよい」（＝「中断型」）の割合が最も高い（31.6%）。
- ・女性は「子どもができて、ずっと働き続けるほうがよい」（＝「継続型」）の割合が最も高い（48.1%）
- ・「仕事と子育てが両立しやすい環境の場合」という条件をつけると、男性も「継続型」がよいとする割合が最も高くなる。（男性39.9%、女性59.6%）

（5）県内事業所は「従業員が育児や介護等の休暇を利用しやすい風土であると感じているか？」

- ・事業所の多くが利用しやすい風土であると感じていない。（「あまり感じない」37.6%「全く感じない」11.3%）

この他にも、結婚、出産、子育て等について、様々な項目について調査、アンケートを行

いましたので、下記ホームページよりご確認ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0016300127.htm>

■■■お問い合わせ■■■

(アドレスの変更・配信停止等につきましては、下記までご連絡ください。)

三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課 家族サポート班

電話：059-224-2304 FAX：059-224-2270

電子メール：shoshika@pref.mie.jp

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOSHIKA/HP/m0074300049.htm>